

東
北
大

きょうかん

発行
東北大学教育学部
関東地区同窓会

事務局
〒187-0022
東京都小平市上水本町 6-5-1304
(小林 昭文方)
電話・FAX 042-325-2819
aug021zelkoba7@ezweb.ne.jp

「きょうかん」に託す思い — 交流の拡大と充実を —



星 永揚 (教育学部 '66 卒)

第十二期がスタートして間もなく一年、皆様にはお変わりなくご健勝でお過ごしのことと思います。この一年の主な活動報告と皆様の近況を臨時増刊号に託してお届けいたしますので、お目通し下さい。

昨秋十一月の総会は、新宿の麗澤大学東京研究センターで、本部長の本郷一夫教育学部長、仙台支部の渡邊宣隆支部長・軍司啓事務局長・關口隆元支部長をご来賓に迎え総勢三十四名での開催でした。

記念講演は、佐藤門哉氏(教社卒)から「三・一一東日本大震災の報告」と題し、郷里南三陸町の被災状況や教訓、復興活動の現状・課題など貴重で生々しい報告があり、被災地の厳しい現状を再認識させられました。会場を地階「三・一一」に移しての懇親会は、挿入写真の様に和やかで実に楽しいひと時でした。

十一月十八日開催の仙台支部総会・懇親会には星が関東支部を代表して参加し、仙台支部の皆様との交流を深めてきました。

年明けの三月には事務局長交代に伴う引継ぎ会を鬼・小林両氏と星の三名で実施。四月仙台での教育学部同

窓会理事会には家根顧問と星、五月東京での萩友会(全学同窓会)・関東支部・本部打合せ会には堀籠副会長が出席しました。

七月開催の東北大学百六周年萩友会関東交流会には、江川・佐倉・野原・堀籠・家根の各氏に星が参加し、他学部同窓生との交流を深めました。また、九月には学士会館で第一回役員会を実施し今日に至ります。

十二期も後半の一年に入りますが、「会員交流と会員拡充の強化、本部・仙台支部との連携強化」の主力針を踏まえ、役員一同同窓会活性化に努める所存です。会運営についての希望・要望も是非お寄せください。皆様の一層のご支援ご協力をお願いいたします。



講師 佐藤 門哉氏
(教育学部 '64 年卒・南三陸町復興協会理事)

門戸開放(女子学生)百周年 堀籠 英夫 (教育学部 '61 卒)

恒例の萩友会関東支部交流会が七月十五日、三八〇名の参加のもと丸の内サピアタワーで開催されました。今回は、女子に大学の門が開かれて一〇〇年目に当たり記念講演は二人の女子研究者により行われた。

東北帝国大学は、一九〇七年に東京帝大、京都帝大に次いで三番目に創設されその開学の理念は「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」で、創立六年後の一九一三年に「門戸開放」の理念を実践し三人の女子学生の入学を受け入れたようであります(現在の理学部に)。

この記念すべき年に当たる記念講演は文学研究科の芳賀准教授による「ギリシャ彫刻と3D」、医学研究科の出澤教授による「Muse 細胞の発見」で、芳賀先生の講演は最新の IT 技術が古代美術の真実を解き明かすからくりを分かりやすく解説され、また出澤先生の Muse 細胞発見は再生医療の可能性を教えてくださいました。再生医療分野では IPS 細胞が良く知られておりますが、Muse 細胞の発見は腫瘍性を持たない多能性幹細胞の発見であり、失われた臓器やその機能を安全に取り戻す夢を与えて

くれるお話しでした (Muse 細胞について詳しくは N E T 検索を試みてください)。

東北大学は里見総長の下「ワールドクラスへの飛躍」を掲げ、開かれた大学運営を実践されているようであり、今回の二人の研究者も本学の卒業生ではなく芳賀先生は東大 (文学部) を、出澤先生は千葉大学 (医学部) を卒業された方々です。こうした方々が母校で活躍されておられることは大変喜ばしいことだと思います。

国籍、人種、性別、年齢などにとらわれず、真に優秀な人材を登用してこそワールドクラスへの飛躍が期待できるものと思います。

萩友会関東支部交流会には教育学部卒業生は毎年数名の参加者しかおられませんが、毎年大変為になるお話が聞かれますので、皆様方のご参加をお勧めいたします。

◆東北大学萩友会 (校友会)

二〇〇七年十月、東北大学ホームカミングデーに併せて開催された全学同窓会総会において、全学同窓会の発展的改組による校友会設立構想が提案され承認・発足された。二〇〇九年、会員同士のネットワークの広まりの願いを込め「東北大学萩友会」を正式名称とした。

「同窓会本部・仙台支部から」

「教育学研究科・教育学部における国際化の取り組み」



東北大学教育学部同窓会会長
教育学研究科長・教育学部長
本郷 一夫 (教育心理 76 年卒)

このところ大学のグローバル化を巡る動きが加速していると感じます。

国の政策としても、現在も (1) 英語だけで学位が取得できるコースの増加、(2) 留学生 30 万人計画、(3) 国際化を目指す中心大学構想 (グローバル 30) などの取り組みが進められています。さらに、来年度以降の取り組みとして「スーパーグローバル大学」構想が検討されています。すなわち、国

公私立を問わず、世界水準の教育研究を進める「トップ型」10 校と積極的な国際教育によって海外で通用する人材を育てる「グローバル牽引型」20 校を指定し、今後 10 年のうちに、世界ランキングのトップ 100 に日本から 10 校以上をランクインさせるという構想です。東北大学も「トップ型」10 校に入ることが期待されており、さらなる国際化が求められると考えられます。

教育学研究科・教育学部も、この数年、国際化に向けたいくつかの取り組みを行っています。大学院における取り組みとしては、二〇一一年度から取り組んでいる「アジア共同

学位開発プロジェクト」があります。

このプロジェクトでは、大学院の修士課程 (博士前期課程) の学生を対象として東アジアの教育課題に対応できる教育指導者、を養成するため共同学位プログラムを開発することを目指しています。今年度は、(1) 英語によるサマーカーコース、(2) 外国人大学院生を対象とした日本語による集中セミナーに加えて、(3) 教育学研究科の大学院生と韓国の高麗大学の大学院生との研究交流会を開催する予定です。

学部における取り組みとして、本年度から、海外でのフィールドワークを行う「海外教育演習」を授業科目として開設しました。また、伊達正宗が支倉常長を団長とした「慶長遣欧使節団」を派遣してから四百年に当たる年にちなんで、現在、「教育学部支倉学生交流委員 (HISE: Hasekura International Student in Education)」を募集しています。

今後、この学生たちは (1) 海外協定校への訪問、(2) 学部の国際化に合わせたイベントの企画・運営、(3) 国際交

流行事における教育学部の広報などの活動をするのが予定されています。

現在も同窓会からは、大学院生の国際学会での発表に対する渡航費用の援助などの点でご支援をいただいています。今後とも教育学研究科・教育学部の国際化に向けてさらなる協力とご支援をよろしく願っています。

「心の持ち方」

東北大学教育学部同窓会仙台支部支部長
渡邊 宣隆 (学校教育 68 年卒)

心の持ち方によって人生は決まるとよく言われます。どんな運命に出会っても心を鍛え、磨き、充実した人生を送りたい。そのためには心の花を開くことが肝心だと言います。親しくしていた義兄を津波で亡くし、その死を引きずっていた私の心に響いた言葉です。今まで恨み呪っていた心も、なるほどそうかとうなずけば明るく晴れる。心が開けるといいうなずく心、陽気な心、感謝の心、感激の心を持つことがとても大事だと改めて思いました。

そこで被災地から明るいニュースを三つお知らせします。一つは東北楽天が創設九年目で優勝しました。私たちに前を向き進んでいく勇気を与えてくれました。一つは震災後初

同窓生の声

めて石巻や岩沼の被災田から平年並みの収穫量が上がりました。多くの支援を受け塩害を三年で乗り越えました。一つは今年末にサン・ファン号出帆四百年祭が三年ぶりのサンファン館再開に当たり石巻で開催されます。二〇一三年は日本がスペインに初めての公式使節団を送ってから四百年目の節目に当たります。仙台藩の侍が藩主伊達正宗の命で太平洋と大西洋を渡りスペイン・ローマへ向うため建造されたガレイ船の名がサン・ファン・パウティスト号です。この復元船が石巻市渡波に展示されていきました。津波や突風で展示館共々破損しましたが、補修が終わり展示再会するというものです。出帆した一六一三年の三年前、一六一一年に慶長三陸津波があり同じように塩害が起こり十年間も続いたといえます。

今回の塩害は刻々と克服されつつあります。他の様々な問題を抱えながらも復旧復興が進展し前にもまして発展していく証かなと思っております。復興の更なる促進と、貴同窓会の益々の発展を祈念いたします。



第十二回総会の出欠返事の葉書に添えられたお言葉を掲載いたします。(お名前の敬称省略)

なお、懇親会の楽しい雰囲気を感じ取っていただくため、随所にスナップ写真を挿入いたしました。

大曾根 良衛

老化が目立ちますが平穩に過しております。書庫で読書三昧。

(教育哲学55年卒 山梨県甲府市在住)

若林 茂

ご案内ありがとうございます。欠席します。皆々様のご多幸を祈念します。近現代史に関する本を書いて過しております。二〇〇五年以来、本年までに七冊出版しました。死ぬまでに十冊は出したいと念願しています。

(教育哲学59年卒 北海道札幌市在住)

鈴木 重雄

ご盛会を祈念申し上げます。震災からの復興を念じる日々です。美しい東北の自然と人々の笑顔を。

(教育哲学70年卒 静岡県浜松市在住)

木村 俊二

都内の中学校で校長を務めています。当日は勤務のため欠席いたしました。ご盛会をお祈りします。

(教育哲学72年卒 東京都西東京市在住)

木戸 裕

いつも大変お世話になっております。当日ですが、高崎経済大学に非常勤講師で行っておりまして、東京駅に着くのが十八時過ぎとなります。十八時三十分間に間に合わないかもしれません。申し訳ありませんが、何卒よろしくお願い申し上げます。

(教育哲学74年卒 東京都板橋区在住)

西山 拓

本年十月に入会させていただいたのですが、十一月十六日は仕事の都合で出席することが出来ません。申し訳ありません。

(教育哲学96年卒 東京都目黒区在住)

【事務局より】

新規入会を心から歓迎いたします。同期・同窓で未入会の方をご存知の場合、ぜひ入会をお勧め下さい。

家根 敏明

さんまの季節が来て北七番丁の寮の庭に夕方亜炭の臭いが立ちこめはじめると、寮祭の準備が忙しくなります。大太鼓を叩き、どてら行列で

一番丁に繰り出してから六十年、青春は遠くなりました。総会が楽しみです。

(教育社会57年卒 東京都世田谷区在住)

小川 文弥

幹事役ご苦労様です。前々回より貴会を退会したくご連絡しております。よろしくお取り計らい下さい。

(教育社会58年卒 埼玉県東松山市在住)

【事務局より】

了解いたしました。手続きをさせていただきます。お元気でお過ごし下さい。

長谷川 嵩

本年八月、喜寿を迎え、ますます元気で頑張るつもり。今年、三月、盛岡に東北大震災支援Pで、歌に行ってきました。

(教育社会59年卒 神奈川県川崎市在住)



懇談会 (於三国一)
本郷同窓会長をお迎えして



渡邊支部長他仙台支部の皆さんと

太田 武久

地区の社会教育（とくに文化祭）等に携わって、若者達の参加の数が少ないのが気になっています。ご盛会を！

（教育社会60年卒 栃木県足利市在住）

西村 孝雄

現在、保護司をやっていますが、宮城刑務所への視察を含めた研修旅行がこの日重なり、出席できません。盛会をお祈り申し上げます。

（教育社会63年卒 東京都中野区在住）

吾田 壹明

体調を崩し、足腰が痛いので、今回は欠席します。案内ありがとうございます。

（教育社会63年卒 埼玉県狭山市在住）

佐久間 孝正

当日は浜松に出張していますが何とか駆けつけようと思っております。

遅れましたらお許し下さい。久しぶりの再会を楽しみにしております。

（教育社会67年卒 東京都西東京市在住）

菅野 正

週一映画館、週二プール通い、それにお酒を少々、健康第一にやっています。皆様によろしく。

66歳、ロック&ロール！？

（教育社会69年卒 東京都文京区在住）

野島 節子

鬼様、お役目ご苦労様です。合唱でもご活躍のことと存じます。お返事が遅れましたが十六日は外せない用事が出来、残念ながら欠席させていただきます。同期の皆様、お目にかかれずおりますが、私、相変わらずです。健康第一の年代となりました。お大切にお過ごし下さい。次のお目もじの時を楽しみにしています。ごきげんよう。

（教育社会69年卒 静岡県沼津市在住）

市塚 守

韓国釜山新羅大学にて講師をしていますので出席できません。

（教育社会73年卒 群馬県高崎市在住）

飯野 健児

大変恐縮ですが会社行事が重なり参加できません。同窓会が盛会に行われることを祈念しております。

（教育社会83年卒 東京都国分寺市在住）

鈴木 英一

当日、別件（子供の中学校のPTA役員などをやっております。）があり失礼いたします。現在、保護観察官という肩書で仕事をしています。

（教育社会89年卒 埼玉県さいたま市在住）

梶塚（旧姓木村）典子

まだ子供が小さいこともあり、また今回は都合により欠席いたしますが、次回がありました是非出席したいです。今回の集まったメンバーや会の様子などでも是非知りたく、「きょうかん」のご報告を楽しみにしております。

（教育社会92年卒 大阪府高槻市在住）

清水 俊雄

「きょうかん」十一号で、同期の藤澤勇氏の逝去を知り大変驚きました。今回の総会には出席できませんが、ご盛会を祈念申し上げます。

（教育行政59年卒 群馬県前橋市在住）

佐藤 全



またまた登場「大先輩と後輩」
2年前と変らぬ若さ

役員の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。二十五年前の結成準備から関わった者として、本同窓会の存続を祈念しております。

（教育行政63年卒 埼玉県越谷市在住）

望月 久

折角ご案内を頂きながら、先約があり出席が叶いません。「きょうかん」を拝見しながら、状況の推移等に思いを巡らせています。総会・懇親会のご盛会を衷心よりお祈りいたします。

（教育行政67年卒 東京都武蔵野市在住）

福田 昭夫

残念ながら、都合により出席できません。今後、東北大学教育学部関東地区同窓会の増々のご発展と皆様おひとりお一人のご健勝とご活躍をお祈りしています。私も微力ながら、

国民の為、日本の為全力で頑張る覚悟です。

(教育行政71年卒 栃木県日光市在住)

浅野 良一

現在、兵庫教育大学で、学校経営・教育行政の教員をしています。ご盛會をお祈りいたします。

(教育行政78年卒 大阪府東大阪市在住)

猪瀬 幸夫

もう五十五歳です。年のせいか昔の学生時代が懐かしく思い出されます。現在、茨城県立境高等学校で進路指導部長をしています。

(教育行政80年卒 茨城県古河市在住)

江川 亮

ご案内有難うございました。出席届が大変遅れ恐縮に存じます。前回には都合で欠席しましたので、皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

(教育心理55年卒 神奈川県横浜市在住)

奥泉 英夫

家庭菜園での野菜作りをしながら、地元の刑務所と少年院へ時々出かけて、個別面接(カウンセリング)等のボランティア活動を継続しています。いずれも定年のない活動なので、

気力と体力が続く限りと意気込んでいます。

(教育心理61年卒 群馬県前橋市在住)

斎藤 忠志

今年の三月でやつと宮仕えを終えました。やりたいこと、やらねばならないことが一杯ありますが、身体がついていけるか、どうか。

(教育心理61年卒 神奈川県横浜市在住)

岡崎 豊

「きょうかん」創刊号などに関わっていましたが、あの頃は大変苦労しました。今ではパソコン編集で相当楽になったのではないかと思います。ですが、それにしても編集担当の方の労をねぎらいたいと思います。

(教育心理63年卒 富山県砺波市在住)

木村 祐

東日本大震災の早期復興と関東地区同窓会の益々のご発展をお祈りいたしております。

(教育心理65年卒 千葉県柏市在住)

会田 元明

入院中の所でしたが、自宅療養となり、担当医より奨められ終活中です。その一環として所属している学会・団体等をすべて事前退会をして

いるところです。つきましては関東地区同窓会も退会させていただきますと思いますので、どうぞご了承下さい。

(教育心理67年卒 栃木県宇都宮市在住)

【事務局より】

了解しました。手続きをさせていただきます。お体お大事に。

菅田 美紀子

前回関東地区同窓会に出席し、同窓の先輩・後輩諸氏とお目にかかり東北大出身であることに久しぶりに誇りを持ちました。やはり同窓会は良いものですね。きょうかんも熟読しています。南三陸町の報告、心待ちにしております。石巻生まれです。

(教育心理67年卒 千葉県柏市在住)

寺嶋 洋平・順子

二人とも仕事の関係で都合がつき



「今夜は最高！」
至福のひと時

ません。会のますますのご発展をお祈りしています。

(教育心理75年卒 千葉県習志野市在住)

出口 利定

出席予定でしたが、当日、沖縄から夜に羽田着のため欠席です。残念です。皆様によりしくお伝え下さい。

(教育心理79年卒 東京都練馬区在住)

野露 るみ子

同窓会運営、有難うございます。神奈川県立中原養護学校に赴任して五年目は、知的障害教育部門、高2を担当しております。卒業までの一年半、いかに人・社会と繋がる力をつけ、旅立たせるかが課題です。近くで障害者雇用・特例子会社設立等を予定している企業の方、ご連絡をお待ちしています。(047558886)

(教育心理83年卒 神奈川県川崎市在住)

吉田 恵子

山梨県立甲府西高等学校で、国語の教員をしています。内地留学で臨床心理士の資格を取得した関係で、教育相談業務にも携わっています。同窓会の盛會を祈念しております。

(教育心理86年卒 山梨県甲府市在住)

鈴木 貞夫

今年は喜寿の祝う会が、山形で高校の同期会で行われます。出かける予定にしています。現在、川崎市退職校長会で頑張っています。

(心身障害学 60 年卒 神奈川県横浜市中区在住)

大沼 直紀

盛会をお祈り申し上げます。東大・先端研に「きこえのバリアフリー研修室」を設け、難聴相談を続けております。

(心身障害学 65 年卒 茨城県つくば市在住)

山森 伸子

母校教育学部の再生(新生)を信じ願いながら、支援を続けていきたいと思っています。

(心身障害学 78 年卒 神奈川県川崎市在住)

細刈 富夫

所用のため、出席できません。埼玉



思い出話に花が咲きました

玉大学で教員をしています。改革の嵐にみまわられています。

(心身障害学 79 年卒 埼玉県さいたま市在住)

菊地 明

同窓会の皆様その道の蘊蓄を傾けたお話を伺い、交流できることは大変ありがたい機会です。この様な場を数多く作っていただけると、うれしいです。

(学校教育 55 年卒 東京都東大和市在住)

高橋 渥子

大学を出てから五十六年を数えます。今の教育に携わっている皆様にエールをお送りしたい今日この頃です。総会のご盛会を祈っております。

(学校教育 56 年卒 群馬県太田市在住)

渡辺 健郎

いつもお世話になってます。有難うございます。当日、先に決まった所用あり、残念ながら欠席させていただきます。ご参会の皆様によりしくお伝え下さい。

(学校教育 56 年卒 神奈川県横浜須賀野市在住)

潮田 良一郎

事務局担当の皆様方には、何かとお世話になり御尽力に対し御礼申し上げます。同窓の仲間が語り合うこ

とは有意義であり、私自身、小中や高校の同窓会の代表を務めて来ましたが、加齢的な老化の現象から、今は全体の集まり等は解散しているところなんです。あるがままに自適の生活を送っています。出席できず申し訳ないが、ご盛会を祈ります。

(学校教育 57 年卒 茨城県下妻市在住)

大金 武文

故里の地に帰り、やはり地元大学や歴史的馴染(閥)もありましたが頑張り、登竜門と言われる中央研修・海外長期研修も与えられ、校長も経てまあまあ教師生活でした。既に退職後十数年を送り、元気で弓道(退職後)の趣味も持ち、加齢にもめげず自適の生活です。旧中高同窓との親しい交流もあります。

(学校教育 57 年卒 茨城県常陸太田市在住)

加藤 万喜子

皆々様のご健康とご多幸を祈念いたします。調布市で高齢者福祉にかかわる活動十年になり、先日、調布市福祉大会の席上、表彰状をいただきました。

(学校教育 60 年卒 東京都調布市在住)

金野 久子

講師、佐藤門哉氏のことを思い出

しました。チリ地震津波のニュースに志津川のご実家へ急ぎ帰られた時のことを。

(学校教育 63 年卒 栃木県小山市在住)

佐藤 光

東北大学高度イノベーション博士人財育成センターで博士学生並びにPDのキャリアパス支援を担当しています。ありがたいことに「元氣だけがとり得」です。

(学校教育 64 年卒 神奈川県藤沢市在住)

伊藤 (旧姓加藤) 育子

あれから四十五年以上も過ぎたのですね。今、静岡県議会議員として、第二の故郷、仙台及びその周辺の被災地に、何回か行っています。今まで訪れたことのなかった仙台に、こういう形で再会するとは思ってもなかった日々です。



年の差を越えて盛り上がりました

(学校教育66年卒 静岡県島田市在住)

相馬 敬司

仙台を出て四十六年、去年と今年は、岩手、宮城へ何度も足をはこび、ねこそぎうばわれた大地、仮設を目に焼き付け、友人たちにあつて話をきき、涙をながしてきました。でも、福島にいる先輩の街にはまだいていません。天災と人災に対してのそなえについて、考えています。

(学校教育66年卒 東京都八王子市在住)

石森 ミネ子

「きょうかん」十一号ありがとうございました。十一月十六日は予定している会があり失礼いたします。皆様のご活躍と会の発展を祈念しています。

(学校教育68卒 東京都墨田区在住)

星 重昭

渡邊仙台支部長の紹介で関東地区同窓会のことを知りました。総会出席はカゼでダウン、叶わず残念でした。本日の会費を納め、遅ればせながら参加・勉強させて頂きます。

(学校教育68卒 神奈川県横浜市在住)

【事務局より】

新規入会を心から歓迎いたします。今後ともよろしく願いたします。

「ブルグラス、母校で賑わう」
ロイ田沢 心身障害学65年卒 埼玉県所沢市在住

★今年の二月と八月に東京都国立市・はつぽん(音楽居酒屋)で開催されたブルグラス・ミニフェス(首都圏で活動のバンド二団体+東北大ブルグラス同好会代表一団体が出演)があり後輩たちの応援に出かけました。ブルグラスとはカントリ音楽の一つで、エレキギターなどの電気楽器やドラムスや管楽器などは使用しない弦楽器だけの編成、ゴスペルのようにハーモニーボーカルも重視するアメリカ民族音楽です。

★私の仙台時代一九五八〜六二年は軽音楽系の同好会は皆無でした。二年間寝起きをした自治寮・明善寮の文化部員としてキングストン・トリオなどのレコードを購入、寮生仲間

東北大バンドは、八月には鈴木瑠平(ギター・茨城)率いる「ハムモンズ」[写真]として登場、キュートな笑顔でリズムを刻む高坂佳世子(ベース・宮城)は文学部だが、鈴木は工学部、浅野晨平(マンドリン・広島)、柳瀬咲子(バンジョー・茨城)、荒川善行(フィドル・埼玉)もすべて理系。それにしても結成一年でこれほどの演奏、歌唱、ハモリが実現するとは・・・、客席のおじいちゃん世代をふくめみな唯々驚くばかり。



演奏中の「ハムモンズ」

アンコールには Shenandoan Breakdown へ応え、大喝采を浴びました。仙台から六時間かけて一台の車で上京、帰りは五人ばらばらに里帰りや夏休みのお楽しみで。なお、十一月三十日には東北大学からは女性中心のバンドが参加して開催

されます。ご興味のある同窓生のみなさまは、どうぞお出かけください。

会報「きょうかん」誕生逸話

今年九月に行われた役員会の席上で、ある役員から「きょうかん」の命名経緯と揮毫者についての質問がありました。平成三年一月一日発行の創刊号以来、会員皆様のご支援のおかげで二十二年が経過いたしました。調べてみたところ、創刊号に當時事務局長だった河田喬夫氏(教社59年卒・05年逝去)が詳述されていましたので転載・紹介いたします。

「会報の誌名と題字」

会報にどんな命名をしたらよいものか困惑しました。

五字というのが比較的落ち着くとも聞いています。結局のところ東北大学教育学部関東地区同窓会に因み、教と関を採り、仮名書で、『きょうかん』とし、東北大を冠することにしました。

『きょうかん』の文字に、仙台での日々に寄せる、お互いの共感、学びの故郷を旅立ってきた者としての郷関、の寓意を託してみました。題字の揮毫は、江川亮会長にお願いしました。時あたかも書初めに備えてという口上で懇請・・・感謝いたします。

(事務局)

事務局ノートから

(一) 第十二期役員 (○印新任)

(次の方々が今期のお世話役です)

会長 星 永揚 (社会'66)

副会長 堀籠 英夫 (社会'61)

阿部 孝 (行政'69)

事務局長 ○小林 昭文 (哲学'76)

幹事 田沢 良介 (心障'62)

今野 正保 (学校'66)

小玉 幸彦 (社会'68)

小熊 順子 (心理'69)

○鬼 宗久 (学校'69)

笹川智恵子 (哲学'69)

徳田 英明 (心理'69)

木戸 裕 (哲学'74)

長沼 真吾 (行政'88)

奥住 秀之 (心障'91)

菊谷 邦雄 (社会'60)

高橋 敏行 (心障'62)

江川 亮 (心理'55)

大曾根良衛 (哲学'55)

菊地 明 (学校'55)

小林幸一郎 (社会'55)

越河 六郎 (心理'57)

家根 敏明 (社会'57)

荒木 廣 (行政'58)

幹事の藤野博氏(心障'84)は一身上の事由により平成二十五年九月辞任されました。長い間ご協力有難うございました。

(二) 恩師の慶弔関係

【叙勲】

松井 一磨(まつい いちまろ) 先生

平成二十五年四月二十九日の春の叙勲で瑞宝中綬章を受章されました。おめでとうございます。

【訃報】

寺田 晃(てらだ あきら) 先生

平成二十五年六月二十九日逝去(八十二歳)。従四位瑞宝小綬章を叙位叙勲されました。心からご冥福をお祈りいたします。

(三) 第一回役員会の概要報告

(実施日) 平成二十五年九月五日

(会場) 学士会館東北大東京連絡所

(出席者) 星、堀籠、阿部、小林、田沢、小玉、小熊、鬼、



(第12期第1回役員会)
(9/5 学士会館東京連絡事務所)

笹川、長沼、菊谷、高橋

以上十二名

(内容) ①第十二回総会・懇親会の実施状況報告と確認

②第十二期維持会費の納入状況と対応について

③活動状況の報告と今後の事業予定の確認

*臨時増刊号の発行

*本部・仙台支部との交流活性化

*関東支部会員名簿の改訂について

*その他意見交換

(四) 会員拡大活動にご協力を

関東支部には、現在451名の方が会員登録されています。専攻毎内訳は、教育哲学42名、教育社会学87名、教育行政学93名、教育心理学91名、心身障害学45名、学校教育学93名です。残念ながら年齢層の上昇に伴い加入者数が漸減傾向にあり、若手層の発掘拡大が喫緊の課題です。本部同窓会とも連携し、今期の重点活動として取り組む所存です。お知合いで未加入の同窓生に加入をお勧め下さい。加入希望の方を事務局にお知らせ頂ければ会報を送る等のフォロー活動をいたします。

皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

第十二期より鬼宗久氏(学校・69年卒)の後任として事務局を引き継ぐことになりました哲学76年卒の小林昭文と申します。私立中高一貫校で英語教員をしております。

これまで総会や懇親会に楽しく参加させていただいておりましたが、事務局お手伝いとなり運営の「実態」に触れることになりました。学士会館地下の東北大学東京連絡事務所で開催される役員会では、星会長はじめ役員の方(訂正、「大先輩方」です)が会務や諸事業の運営に、涉外活動に、そして広報活動にとご尽力されている姿を拝見し大変なところに來てしまったと思いました。しかし同時に、何と楽しそうに柔らかに時間が過ぎていくものだなあと感じました。

ときに東北震災復興の実情に迫り(社会・佐藤門哉氏 前号)、ときに百周年記念講演のビッグニュースを伝え(堀籠副会長 本号)、母校の研究第一、門戸開放は卒業後も健在、と思いを新たにしました。こんな素晴らしい同窓会の運営に少しでもお役にたてれば幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。(小林)